

日米共同訓練（国内における米陸軍との実動訓練）の概要について

矢臼別演習場において、陸上自衛隊と米陸軍による日米共同訓練（国内における米陸軍との実動訓練）が実施されますので、概要について次のとおりお知らせします。

1 目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図る。

2 期間 平成27年2月9日（月）～22日（日）

3 場所 矢臼別演習場

4 担任官

（１） 日本側：北部方面隊 第5旅団長 陸将補 徳田秀久

（２） 米軍側：アラスカ陸軍司令官 少将 マイケル H シールズ（Michael H. Shields）

5 訓練実施部隊

（１） 陸上自衛隊

ア 第5旅団第27普通科連隊、第1空挺団

イ 人員 約150名

ウ 主要装備

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃 MINIMI、対人狙撃銃、81mm迫撃砲 L16、87式対戦車誘導弾、01式軽対戦車誘導弾等

（２） 米陸軍

ア 第4-25歩兵旅団戦闘団第1-501歩兵大隊

イ 人員 約50名

ウ 主要装備 5.56mm小銃、5.56mm機関銃、12.7mm狙撃銃等

6 その他

日米による空挺降下訓練を予定

（問合せ先）

陸上幕僚監部広報室

電話 03-3268-3111（内線40083）

別海町役場総務部総合政策課地域政策担当

電話 0153-75-2111（内線 2211）